

# まちも大中遺跡も55周年

## 大切に次世代へ



播磨町長

清水ひろ子

新年 あけましておめでとございます。  
それぞれの家庭におかれましては、お幸せな新年を迎えられたことと思います。夢と希望に満ちたお年でありますように。

今年、昭和37年に播磨町が町制を施行してから55周年。半世紀以上に亘り、まちには大きな災害もなく、財政的にも恵まれ、穏やかな歴史を重ねてまいりました。その間、産業形態も少しずつ変化しながら、播磨臨海工業地帯の一翼を成すまちとして順調に発展してまいりました。現在の人口減少時代にあってもまちの人口は増加を続けております。恵まれた地の利を活かしながら、良好な住環境と産業が調和するまちとして、今年も希望を持った新たな事業を展開してまいりたいと思っております。平成29年度にはいくつかの記念行事を予定しております。ぜひ多くの方々のご参加をいただければ有難く思います。

また、同時に大中遺跡も発見されてから55周年。その地に建設されました「県立考古博物館」も開館10周年を迎えます。皆様方とともに、そうした節目に立ち会えることを感謝しつつ、まちの貴重な観光資源として、かけがえのない「遺産」として、大切に次世代に引き継いでまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

# 皆様に開かれた

## 親しまれる議会へ



播磨町議会議長

藤原 秀策

新年、明けましておめでとございます。  
お健やかに初春をお迎えのことと存じます。本年が皆様にとって素晴らしい年になるようご祈念申し上げます。

昨年、熊本地震や鳥取県中部地震をはじめ、11月には福島県沖を震源地とするマグニチュード7.4の地震とそれに伴う津波が観測されました。今後、想定される南海トラフ地震などに備え、防災・減災対策を充実させる必要があります。

また、国際社会では、アメリカ次期大統領が決まり、現政権とは異なる政見を述べています。今後の我が国の外交や経済、安全保障などにも影響が見込まれ、先行き不透明な状況です。

このような中、国の地方創生を受けて各々の自治体が地方版総合戦略を策定し、特色のあるまちづくりに取り組んでいるところです。議会におきましても、政策提案を含め、様々な角度からまちづくりに積極的に参画し、播磨町をより魅力のあるまちにしていきたいと考えています。

そのためにも、これから議員全員が資質向上に努め、皆様のお声に耳を傾けるとともに議会活性化と充実を図り、町民の皆様に関われた親しまれる議会を目指し、努力していきたいと考えています。

今後とも引き続き、暖かい御心で本議会を見守っていただければ幸いです。本年もよろしくお願いたします。

あけまして  
おめでとう  
ございます。

議長 藤原 秀策  
副議長 田中 久子  
議員(議席順)

- 木村 晴恵
- 大瀧 金三
- 山本 雅之
- 宮宅 良
- 岡田 千賀子
- 松下 嘉城
- 河野 照代
- 神吉 史久
- 小原 健一
- 奥田 俊則
- 藤田 博
- 松岡 光子

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。